

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
①児童館、地域子育て支援拠点の充実	地域や年齢が異なる子ども同士の交流を促進し、仲間づくりの輪を広げます。	参加人数	999人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館、地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			1,978人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館、地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			891人	②計画通り進んでいる	地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
			311人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (虹)	
	中学生や高校生がボランティアとして参加できるような仕組みづくりを推進します。	中・高校生のボランティア参加事業回数 参加人数	3事業0回 0人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3事業中止となった。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			1事業0回 0人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1事業中止となった。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
	子育て情報の収集・提供に努めるとともに、相談機能の充実を図り、子育て中の家庭への支援に努めます。	情報の提供 (発行)回数	広報・児童館拠点だより 各12回 計24回	②計画通り進んでいる	児童館拠点だよりや広報を見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
				②計画通り進んでいる	児童館拠点だよりや広報を見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
				②計画通り進んでいる	拠点だよりや広報を見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
				②計画通り進んでいる	拠点だよりや広報を見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (虹)	
		子育て相談受付件数		23件	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館中は電話相談のみの対応となったが、子育て中の親の不安解消に努めた。また、3月訪問型子育て支援が1件あった。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)
				10件	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館中は電話相談のみの対応となったが、子育て中の親の不安解消に努めた。	A:拡大・充実	オンラインでの育児相談の実施に向け準備をする。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)
				22件	②計画通り進んでいる	子育て相談の実施。随時子育て相談を行い、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)
			9件	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館中は電話相談のみの対応となったが、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		子育て支援課 (虹)	

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
②公民館機能の充実	「夏休み子ども講座」の開催などを通して小中学生の参加を促すとともに、異学年交流を促進するような講座運営に努めます。	参加人数 講座人数	開催なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止及び小・中学校の夏休み期間短縮のため「夏休み子ども講座」の開催は中止した。代替案も検討したが、土曜授業や長期休みでの日程確保ができないため講座の開催を中止した。	A:拡大・充実	夏休み子ども講座「はじめての卓球」 夏休み宿題応援講座「絵画」「習字」	学び支援課
	親子のふれあいや家族間交流の場を提供するため、親子で参加できる講座を開催します。	親子を対象とした事業実施回数 参加人数	開催なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた講座「親子クッキング」を中止した。代替案も検討したが、土曜授業や長期休みでの日程確保ができないため講座の開催を中止した。	A:拡大・充実	公民館講座「赤ちゃんマッサージ」 公民館後期講座で実施予定	
	地域の多様な主体との協同によって、世代間交流を促進します。	市民により構成された団体に協力をいただいた事業回数 参加人数	開催なし	③計画より遅れている	子どもが参加する講座の開催はなかった。	B:継続	市内で活動する団体やサークル等に対して働きかけを行い、公民館で開催可能な企画の提案を働きかける。	
③図書館機能の充実	「夏休みの子ども講座」の開催などを通じて小中学生の参加を促すとともに、異学年交流を促進するような講座運営に努めます。	事業実施回数、参加者数	・ファンファンシネマ 3回 延べ24人参加	②計画通り進んでいる	幅広い年代が参加できる映画観賞会を開催した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	学び支援課
	親子のふれあいや家族間交流の場を提供するため、親子で参加できる講座を開催します。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 7回延べ58人参加 ・ちいさい子のおはなし会 13回延べ139人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう 1回6人参加	②計画通り進んでいる	ボランティアとともに各種おはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士のコミュニケーションの場を提供した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	
	児童書を購入するなど、蔵書・資料の充実に努めます。	年度末所蔵資料数	156,483点	①計画以上進んでいる	1年間で15,201点の受入を行い、資料の充実に図った。	B:継続	引き続き資料の充実に努めていく。	
	「おはなし会」「ちいさい子のおはなし会」といった読み聞かせなどをボランティアグループと実施するとともに、ボランティアの育成・発展に努めます。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 7回延べ58人参加 ・ちいさい子のおはなし会 13回延べ139人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう 1回6人参加	②計画通り進んでいる	ボランティアとともに各種おはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士のコミュニケーションの場を提供した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	
	『子育て・親育て』のための場所として、親子への読書案内や読み聞かせを実施するとともに、ブックスタートを行います。	事業実施回数、参加者数	・ブックスタート 10回352組	②計画通り進んでいる	絵本を通じた親子のふれあいの一助とするため、ブックスタートを実施し、絵本や図書館がすすめる本のリスト等を配布した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
④公園の活用・整備	総合運動公園や都市公園の利用促進を図るとともに、樹木の剪定、害虫の駆除、遊具の補修等を通じて公園の整備・充実を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	利用しやすい環境を維持するため、樹木の伐採・剪定、害虫の消毒等、適切な管理に努めた。	B:継続		いきいき教育課 (総合運動公園分)	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	公園施設の改修や公園内の除草、樹木剪定等を行い、利用しやすい環境の整備に努めた。	B:継続		街づくり課 (都市公園分)	
	誰もが安全・安心に利用できるよう、公園施設の維持管理や巡回を実施し、環境の維持に努めます。	巡回回数 清掃回数 遊具点検の実施回数	一公園あたり約48回 一公園あたり約48回 専門業者による点検1回	②計画通り進んでいる	職員による公園点検及び年1回専門業者による遊具点検を実施し、利用者が安心して利用できる環境の維持に努めた。	B:継続	引き続き、公園の巡回回数を週1回と定め、月4回を目標とする。	街づくり課	
		巡回回数 清掃回数 遊具点検の実施回数	巡回・清掃 随時 遊具点検：年1回	②計画通り進んでいる	草刈や遊具の修繕を実施し、環境整備に努めた。	B:継続	維持管理を継続し、安全・安心に利用できる環境維持に努める。	保育課 (児童遊園分)	
	子育て支援の一環としての公園の利用を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	適切な時期に除草や樹木の剪定等を行い、利用しやすい環境の維持に努めた。	B:継続		街づくり課	
⑤保育所の園庭開放	保育所での園庭開放を行い、地域の親子の交流や子育てに関する情報交換の場の提供に努めます。	実施回数 参加人数	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。	保育課 (千駄野保育所)	
			なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。	保育課 (ぶりちる)	
			なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。	保育課 (西保育所)	
	出前保育により園児と一緒にふれあい遊びなどを行い、地域の親子の交流や子育てに関する情報交換の場の提供に努めます。	実施回数 参加人数	2回 8人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、園児との交流は行わず、安全対策に努め、地域の親子や子育てに関する情報交換の場の提供に努めた。	C:見直し・改善		子育て支援課 (虹)	
⑥さまざまな「子どもの居場所」の確保	遊び場や「居場所」の確保のため、地域の既存の施設及び子ども食堂などの利用や地域の子育て団体の育成に努めます。	継続実施	継続	②計画通り進んでいる	遊び場や「居場所」確保のため、児童館や地域子育て支援拠点等、地域の既存の施設等の利用や地域の子育て団体の育成に努めた。特にm東児童館では子育てサークルの支援を行った。	B:継続	引き続き、遊び場や「居場所」の確保のため、児童館や地域子育て支援拠点等地域の既存の施設等の利用や地域の子育て団体の育成に努める。	子育て支援課	
		「子どもの地域活動に関する情報」を収集した上で子育てカレンダーにとりまとめ、子育て家庭に配布します。	収集した情報をまとめた子育てカレンダーの作成・配布の実施	21拠点配布 全4回	②計画通り進んでいる	子育てカレンダーを配布することにより、子育て中の家庭に向けた情報の提供ができた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						2 体験活動が充実した地域づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①多様な体験・活動型プログラムの提供	さまざまな体験活動を通じて、異年齢・世代間交流や自然とふれあう機会などの提供に努めます。	体験活動の事業回数 参加人数	1事業1回 延べ5人	②計画通り進んでいる	異年齢・世代間の交流や自然とのふれあう機会を提供できた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回のうち1回は田んぼの学校と重複) ・体験活動事業(わんぱく商店街) ・公立学校開放講座	学び支援課
	各種体験・活動型プログラムなどの参加者のニーズを捉えるとともに、それに対応した事業の提供を図ります。	ニーズに対応した事業回数 参加人数	田んぼの学校 1回 5人 (しめ縄作り)	②計画通り進んでいる	異年齢・世代間の交流や自然とのふれあう機会を提供できた。	B:継続		
	地域の「教育力」を高めるために、ペアーズリーダー(ボランティア精神を踏まえた有志指導者)や「ペアーズサークル(市内で生涯学習活動をしている団体)」といったペアーズバンクの登録者を拡充し、活用に努めます。	ペアーズバンクの登録数及び講座回数 参加人数	ペアーズリーダー 58人 ペアーズサークル 33団体 ペアーズアカデミー 4講座10回 140人	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続		
②地域における活動への支援	「子ども会育成連絡協議会」、「スポーツ少年団」への補助を継続し、地域における子どもたちの活動を支援します。	支援の状況	補助金の交付 ・子ども会育成連絡協議会 216,000円 ・スポーツ少年団 158,000円	②計画通り進んでいる	「子ども会育成連絡協議会」、「スポーツ少年団」への補助金を交付し、地域における子どもたちの活動を支援できた。	B:継続		いきいき教育課
③スポーツ活動の推進	子どもから高齢者まで誰でも参加できるスポーツ教室を通じて多世代交流を促進するとともに、子どもの健やかな成長を支援します。	スポーツ活動事業回数 参加人数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業は中止となったが、スポーツ推進委員と協力してスポーツ教室開催に向けた研修を行った。	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらスポーツ教室開催に向けた研修を実施できた。	B:継続		いきいき教育課
	子どもから大人まで参加できる「総合型地域スポーツクラブ」へ広報活動などの支援を継続します。	支援の状況	実施	②計画通り進んでいる	総合型地域スポーツクラブに対し、支援事業、研修会などの情報を提供した。	B:継続		いきいき教育課
	学校施設の適切な維持管理に努めるとともに、小中学校の校庭・体育館をスポーツ団体に開放し、スポーツ活動を推進します。	継続実施	延べ55,075人	②計画通り進んでいる	学校体育施設の適正な維持管理に努め、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供した。	B:継続		
④ボランティア活動の促進	地域の子育て力を高めるため、家庭や地域・学校と連携したボランティア活動の推進に取り組みます。	ボランティア事業数 ボランティア人数	6事業中1事業実施 23人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では、安全対策に努め事業の充実を図った。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館・はびる)
			4事業中2事業実施 68人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では、安全対策に努め事業の充実を図った。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館・らぶらる)
	学校における「生きる力」を育む教育や道徳教育、特別活動等において、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養うことに努めます。	ボランティア活動回数	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、未実施。	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、活動を自粛した。	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながら、できる範囲で活動を進めていく。	教育指導課

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						3 子育て家庭の安全な生活の確保		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①交通安全の推進	学校における交通安全教育などを通して、交通事故の防止を図ります。	実施回数	各学校で年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施するほか、年間を通して適宜指導を行った。	B:継続		教育指導課
	交通安全啓発活動など、交通安全対策を推進します。	交通安全活動回数	広報車による広報活動47回	②計画通り進んでいる	久喜地方交通安全協会白岡支部による広報車を使用した広報活動及び各交通安全運動期間中の啓発品配布等により、交通事故撲滅に努めた。	B:継続		安心安全課
	各行政区と調整の上、危険箇所における交通安全施設の整備・充実や通学路の整備を図ります。	道路環境整備実施数	側溝蓋掛渡工事93m 交通安全施設設置工事10交差点 道路反射鏡設置工事18箇所	②計画通り進んでいる	地域の要望に基づき、必要となる対策を計画的に実施した。	B:継続	本年度も引き続き各行政区等と調整しながら適宜安全対策の実施を進めていく。	道路課
	市内の生活環境保持のため、放置自転車対策を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	自転車等放置禁止区域内を巡回し、放置自転車の啓発指導等を行い、駅周辺における生活環境の保持に努めた。	B:継続		安心安全課
②安心して外出できる環境の整備	誰もが安心して外出できるよう公共施設などのバリアフリー化を推進するとともに、JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動などを行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動を行った。	B:継続	引き続き、公共施設や公共交通機関等におけるバリアフリー化を推進するとともに、JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動を実施する。	企画政策課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	関係機関からの情報を適宜提供した。(ポスター、リーフレットの掲示による啓発等)	B:継続		福祉課
	広報紙を活用し、「赤ちゃんの駅」のPRや情報提供を行います。	情報提供回数 赤ちゃんの駅増加数	1回 1か所	②計画通り進んでいる	広報紙で情報提供を行った。 赤ちゃんの駅が1か所新しく設置された(エコプラザ)。	B:継続	広報紙等で情報提供を行う。	子育て支援課
③子どもを取り巻く有害環境対策の推進	「白岡市青少年に有害な図書等の自動販売機等の規制に関する条例」に基づき、市内のコンビニの成人向け雑誌コーナーの陳列に対して抑制を行っていきます。	協力要請	実施	②計画通り進んでいる	市内のコンビニエンスストアの成人向け雑誌コーナーにおける陳列が、条例に沿ったものになっているか調査した。	B:継続		福祉課
	「住みよい地域づくり」の実現に向け、地域・学校・家庭等が連携して青少年を取り巻く健全な環境づくりを図る取組を、引き続き支援します。	活動の支援	実施	②計画通り進んでいる	青少年育成団体に対し、補助金の交付を行った。 補助団体 1件	B:継続		
	学校における情報モラル教育の推進を図るとともに、保護者に対しては広報物を活用した啓発等を実施します。	実施回数	各学校で年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	各学校において情報モラル教育について教育課程に位置づけ、計画的に実施した。また、保護者についても、便り等を活用し啓発を行った。	B:継続		教育指導課

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						3	子育て家庭の安全な生活の確保		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
④防犯対策の充実	警察や「地域防犯推進委員」と連携し、地域の安全確保に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	久喜警察署及び地域防犯推進委員と連携し、地域の安全確保に努めた。	B:継続		安心安全課	
	危険を感じた際の避難場所としての「子ども110番の家」制度を今後も継続し、子どもを犯罪から守ります。	継続実施	子ども110番の家、防犯パトロールについて継続実施をした。	②計画通り進んでいる	年度末に子ども110番の家について避難状況等の確認を行った。	B:継続		教育指導課	
	スクールガードリーダーを配置し、児童・生徒の登下校の見守りを実施します。	パトロール回数	1310回	②計画通り進んでいる	児童・生徒の登校日については、登下校の見守りを依頼した。	B:継続		教育指導課	
	自主防犯組織を支援するとともに、防犯ボランティアとの連携・協力を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	各行政区に対し、防犯活動用資機材(のぼり旗)を配布し、地域の自主的な防犯活動を促進した。	B:継続		安心安全課	
	子ども、保護者等への防犯教育を実施します。	防犯教育研修回数 参加人数	実施	②計画通り進んでいる	各行政区に対し、防犯活動用資機材(のぼり旗)を配布し、地域の自主的な防犯活動を促進した。	B:継続		教育指導課	
		防犯教育研修回数 参加人数	各保育所1回実施 (5月)	②計画通り進んでいる	埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」による園児向け人形劇等の防犯指導を受けている。	B:継続	警察本部の防犯指導班の指導を受け、子ども、保護者等への防犯教育を実施する。	保育課	
	防犯灯などの防犯施設の整備・充実を図るとともに、道路・公園に死角をつくらないなど、犯罪の起こりにくい環境づくりに努めます。	防犯施設の整備	実施	②計画通り進んでいる	防犯灯の維持管理を行うほか、防犯対策として、行政区からの要望に基づき防犯灯を新設した。	B:継続		安心安全課	
⑤防災対策の充実	災害や火災などから子どもを守るため、市で実施する防災訓練や各保育所、幼稚園、学校で実施する防災訓練・避難訓練などの一層の充実を図ります。	防災訓練回数	避難所設営訓練 1回	②計画通り進んでいる	白岡市総合防災訓練は中止。市職員による避難所設営訓練を実施した。	B:継続		安心安全課	
		防災訓練回数	各学校で年間2回以上実施	②計画通り進んでいる	学校行事として年間2回以上行うほか、引取訓練など保護者にも協力を求めた。	B:継続		教育指導課	
		防災訓練回数	各保育所月1回実施	②計画通り進んでいる	消防署立会訓練は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。月1回防災教育、避難訓練を行った。また、職員の消火訓練を年2回行った。	B:継続	消防署立会による災害や火災などから子どもを守るため、各保育所での防災訓練・避難訓練等のいっそうの充実を図る。	保育課	
	保育施設、教育施設の整備・点検を推進します。	継続実施	校舎等安全点検を各学校で年間2回以上実施 遊具等について隔年での点検を実施	②計画通り進んでいる	施設・設備の安全性が確保され、教育環境の保全が図られた。	A:拡大・充実	老朽化した施設の安全性確保のための点検を実施し、効率的な修繕に努めている。 特に立中学校3校の外壁については、赤外線と打診を併用した劣化状況調査を実施する。 また、遊器具等の点検については、隔年で実施し、老朽化の酷い遊器具等については更新・修繕を実施していく。	教育総務課	
		継続実施	児童館の消防用設備等の整備・点検を継続実施	②計画通り進んでいる	施設の状況を把握し、安全な施設づくりにつなげることで、防災対策(減災)の充実を図ることができた。	B:継続		子育て支援課	
		継続実施	消防用設備等の整備・点検を継続実施	②計画通り進んでいる	施設の状況を把握し、安全な施設づくりにつなげることで、防災対策(減災)の充実を図ることができた。	B:継続		保育課	
	防災情報や人命に関わる情報を円滑に伝えるべく、防災行政無線や白岡市安心安全メールサービスの普及・啓発など、情報伝達体制の充実に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	広報紙や市公式ホームページ等により周知し、情報伝達体制の充実に努めた。	B:継続		安心安全課	
	白岡市内の保育所、小・中学校などで給食用食材の放射性物質の測定事業を引き続き行います。		市立保育所の給食食材2種類について隔月(年6回)実施	②計画通り進んでいる	食材に含まれる放射性物質の検査により、安心安全な給食を提供することができた。	B:継続		保育課	
		継続実施	2回/月 (8月を除く)	②計画通り進んでいる	放射性物質測定を実施することで、学校給食用食材の安全性を確認することが出来た。	B:継続	過去10年間実施しているが、放射性物質が検出されていないことに加え、放射性物質測定機器設置場所の減少により、回数を減らす。(2回/学期)	教育総務課	

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						1 子どもと親の健康づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①子ども・母親の健康の確保	不育症検査、不妊検査及び不妊治療を受けている方に対して、適切な医療を受けることができるよう費用の軽減などの支援に努めます。	助成者数	不妊治療費助成 44件 (うち男性不妊治療 1件) 不妊検査費助成 16件 不育症検査費助成 5件	①計画以上進んでいる	市広報・市HP、保健所に協力を依頼し、広報に努めた結果、必要な人への助成が行われることで、子どもを持ちたいかたの経済的負担の軽減がなされた。	B:継続	令和4年度から不妊治療が保険適応になる予定。国・県の助成の動向に合わせて対応していく。	健康増進課
	母子健康手帳交付時における資料の配布などによって、妊娠中の健康管理や母子保健事業などの啓発を図るとともに、交付時にアンケートを実施し、適宜保健師などの専門職が対応できるよう努めます。	交付数 面接人数	母子健康手帳交付数 375人 交付時面接人数 431人	②計画通り進んでいる	母子健康手帳交付時に、すべての妊婦に保健師等の専門職が面接を行い、妊婦の生活状況等を確認し、その後の支援につなげた。 妊娠・育児についての資料の配布、必要な支援事業の紹介・説明を行った。	B:継続	令和3年度から、会計年度職員から常勤の保健師が対応している。	
	「母親学級(両親学級)」などの学習機会を充実させることで妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、各種相談の実施により出産・子育てに臨む親の不安解消や支援に努めます。	母親・両親学級実施回数・参加人数 各相談事業実施回数・相談人数	母親・両親学級 10回 母親：60人 父親：49人 乳幼児健康相談 19回 延べ203人 乳幼児栄養相談 13回 延べ57人 離乳食教室 5回 延べ21人 フォロー相談 24回 延べ81人 乳幼児クリニック 6回 延べ18人 ことばの教室 36回 延べ108人	②計画通り進んでいる	母親・両親学級を実施し、妊娠・出産・育児の知識の普及が図られた。 各相談事業を実施することで、出産・子育てをする親の支援を行い、育児不安等の軽減が図られた。	B:継続		
	入院を必要とする未熟児に対して、養育医療制度を活用し、適切な医療を受けることができるように費用の軽減などの支援に努めます。	申請件数	18人	②計画通り進んでいる	療育医療制度を活用し、保護者の窓口負担が生じないように対応した。	B:継続		
	乳児全戸訪問事業、乳幼児及び妊婦健康診査や妊婦などへの保健指導、各種定期予防接種等を通じて異常の早期発見、早期治療、育児支援等を図り、子どもと母親の健康の確保に努めます。	訪問人数 健診受診者数 予防接種件数	訪問指導 延べ417人 妊婦健康診査(1人当たり14回) 5, 125件 産後ケア利用者数 3人 4か月児健康診査 395人(98.3%) 10か月児健康診査 367人(96.8%) 1歳6か月児健康診査 388人(97.5%) 3歳児健康診査 390人(98.2%) 2歳6か月児歯科健康診査 予防接種： ロタ 延べ 384人 Hib 延べ1, 633人 小児用肺炎球菌 延べ1, 618人 四種混合 延べ1, 619人 BCG 395人 麻しん風しん 1期 397人 2期 444人 水痘 延べ 807人 日本脳炎 延べ1, 994人 二種混合2期 418人 B型肝炎 延べ1, 199人 子宮頸がん 延べ 9人 大人の風しん予防接種事業 10人	②計画通り進んでいる	妊婦健康診査の助成を行うことで、健診費用の心配をすることなく受診する機会が確保され、母と胎児の健康の確保がなされた。 産後に心身の不調のある母に対しては、産後ケア事業を紹介し利用につなげた。 乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健康診査等により、異常の早期発見・早期治療、育児支援を行うことで子どもと母親の健康の確保がなされた。 定期予防接種を実施することにより、費用負担の軽減と感染症予防がなされた。令和2年10月からロタウイルスワクチンも定期接種となった。	A:拡大・充実	令和3年度から、母子保健法の改正に合わせ、産後ケア事業の対象者を拡充し、訪問型の産後ケア事業を開始した。 令和4年度から産後健診が妊婦健康診査に追加になる可能性あり。	
薬物、喫煙、アルコール、小児生活習慣病等の防止のため、食育などの教育課程の一環として、各学校で指導を行います。	健康教育の回数	各学校において年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	教科学習の時間を中心に各学校において1時間以上実施した。	B:継続		教育指導課	
子どもの体力向上を目指すべく、体力向上推進委員会を開催し、各学校で指導を行います。	指導回数	感染症拡大防止の観点から実施していない。	③計画より遅れている	感染症拡大防止のため予定通りの実施ができなかった。	C:見直し・改善	持続可能な会の運営について検討が必要である。		

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						1 子どもと親の健康づくりの推進			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
②「食育」の推進	乳幼児健康診査及び乳幼児栄養相談時に、各家庭に寄り添った指導の充実、乳幼児の食事に関する啓発資料及び食育計画に基づき作成した白岡オリジナル健康レシピbookの配布を実施します。	実施回数	乳幼児健康診査時栄養相談 各健診月1回 乳幼児栄養相談 13回 延べ57人 健康レシピbookの配布	②計画通り進んでいる	4か月健診では離乳食についての冊子、1歳6か月児・3歳児健診では幼児期の食事のプリントを配布。また個別相談を行うことにより子に合った指導がなされた。 第2次はびすイッチプラン(食育計画含む)に基づき、白岡オリジナル健康レシピbookを配布するなどし、食育の更なる充実を図った。	B:継続		健康増進課	
	定期的なクッキングイベントの開催、乳幼児期の食生活に関する講話の実施、おやつを試食などによって、「食育」などに対する知識の普及を図ります。	教室等回数 参加人数	離乳食教室 5回 延べ21人	新型コロナウイルス対策のため、のびのび教室でのおやつ試食は中止とした。	③計画より遅れている	乳幼児期の食生活についての講話により、食についての関心が高まった。	B:継続		
			3事業0回 0人	3事業0回 0人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3事業すべて中止した。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館)
			3事業0回 0人	3事業0回 0人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3事業すべて中止した。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館)
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	C:見直し・改善	新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため	保育課 (ぶりちる)	
			1事業1回 4人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためクッキングは中止となり試食会は1回実施する。参加者に園での給食を紹介し、レシピなどを提供した。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (虹)	
	健康増進計画の一環として、食生活改善推進員協議会、母子愛育会などの各団体同士で協同し、食生活に関する健康づくり活動を支援します。	継続実施	新型コロナ対策として、コロナ事業を中止した。	③計画より遅れている	各団体の活動について、協力支援を継続している。	B:継続	新型コロナ対策に留意しながら、実施できる活動を検討していく。	健康増進課	
	各学校の給食の時間や家庭科及び保健などの時間を通じて、「食育」に関する指導を行います。	指導時間	各学校、各学年において年間1時間以上実施	②計画通り進んでいる	食育の指導計画を作成し、各学年において1時間以上実施した。	B:継続		教育指導課	
	各学校の家庭科や校外行事、総合的な学習などの時間を通じて、食事づくりの体験を実施するなど、学校における「食育」の継続・充実を図ります。	継続実施	感染症拡大防止の観点から実施していない。	③計画より遅れている	感染症拡大防止のため予定通りの実施ができなかった。	C:見直し・改善	持続可能な実施方法について検討が必要である。	教育指導課	
	③小児医療の充実	白岡市休日診療事業の一環として、関係機関との連携体制を取りながら、第1次(初期)緊急医療の維持・推進について検討します。	継続実施	市医師会に委託し、白岡中央総合病院で休日(日曜日、祝日、年末年始)9時~12時に初期救急を実施。	②計画通り進んでいる	白岡市休日診療事業として、初期救急医療が維持された。	B:継続		
埼玉県の救急電話相談について、乳幼児健診などで周知し推進に努めます。		継続実施	乳児家庭全戸訪問事業時や各乳幼児健診等の機会を利用し、救急電話相談についての冊子やカードを配布し周知した。	②計画通り進んでいる	埼玉県の救急電話相談について、周知がなされた。	B:継続		健康増進課	
利根保健医療圏における輪番制により、第2次救急医療の24時間対応体制の維持・推進に努めます。		継続実施	平日夜間及び休日の救急医療について、輪番体制を取り対応している。	②計画通り進んでいる	東部北地区医療圏における2病院の輪番制により、第2次救急医療体制が図られた。	B:継続			

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						2 障がい児と家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①障がいの早期発見・早期対応	母子保健などの施策として乳幼児健診などを行い、発育・発達について経過観察が必要な乳幼児の早期発見に努めます。また、支援事業への連携体制の拡充や、継続的支援・親の支援の充実を図ります。	対応事業 対応人数	乳幼児健診の実施 各健診月1回 乳幼児健康相談 19回 延べ203人 フォロー相談 24回 延べ81人 乳幼児クリニック 6回 延べ18人 ことばの教室 36回 延べ108人 のびのび教室 4回 延べ20人 新型コロナ対策のため、わくわく教室は中止とした。	②計画通り進んでいる	乳幼児健診等において、発育・発達について経過観察が必要な児の早期発見に努め、必要時は支援事業への参加を促した。また必要がある児に対しては、医療受診を促し継続的支援を図った。	A:拡大・充実	令和3年度から、新生児聴覚検査事業を開始。聴覚異常の早期発見早期対応につなげる。 新型コロナ対策・市内の状況から、わくわく教室は中止し、のびのび教室の回数を増やし対応する。	健康増進課
②療育相談・指導、情報提供の充実	療育支援が必要な障がい児などに対する相談・指導体制の充実を図ります。特に就学相談に関しては、就学年齢に限らず年間を通じて受け付けるよう体制を整えます。	対応数	就学相談の実施(23人)	①計画以上進んでいる	就学年齢に限らず早期からの相談に対応した。	B:継続		教育指導課
			乳幼児健診の実施 各健診月1回 乳幼児健康相談 19回 延べ203人 フォロー相談 24回 延べ81人 乳幼児クリニック 6回 延べ18人 ことばの教室 36回 延べ108人 のびのび教室 4回 延べ20人 新型コロナ対策のため、わくわく教室は中止とした。	②計画通り進んでいる	支援が必要な児について、支援事業への参加を促した。また必要がある児に対しては、医療受診を促し継続的支援を図った。 保護者と相談をかさねることで、保護者の就学に対する不安が軽減した。	B:継続	新型コロナ対策・市内の状況から、わくわく教室は中止し、のびのび教室の回数を増やし対応する。	健康増進課
			実施	②計画通り進んでいる	相談を受け付けた際に対応機関の紹介をした。	B:継続	相談を受け付けた際に対応機関の紹介を行う。	子育て支援課
			実施	②計画通り進んでいる	療育手帳の取得等適宜相談に応じ、必要なサービス等を案内した。	B:継続		福祉課
			医療・保健・福祉・教育の連携強化を図るとともに、必要時においては、児童の支援事業への参加や適切な医療受診をできるように体制を拡充します。	継続実施	関係各課と連携を図り、適正に相談を行った。	②計画通り進んでいる	関係各課からの情報を得て、適正に就学相談を行った。	B:継続
			他課・各小学校と、就学児についての情報交換会を実施	②計画通り進んでいる	教育機関と連携し情報交換会を実施することで、児にとってより良い就学につながった。 保護者と相談をかさねることで、保護者の就学に対する不安が軽減した。	B:継続		健康増進課
			実施	②計画通り進んでいる	相談を受け付けた際に対応機関の照会をした。	B:継続	相談を受け付けた際に対応機関の紹介を行う。	子育て支援課
			実施	②計画通り進んでいる	療育手帳の取得等適宜相談に応じ、必要なサービス等を案内した。	B:継続		福祉課
			関係各課と連携を取り、情報提供や相談対応を充実させ、障がいのある児童・生徒の適正な就学、教育を推進します。	対応数	就学相談の実施(23人)	②計画通り進んでいる	関係各課からの情報を得て、適正に就学相談を行った。	B:継続

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						2 障がい児と家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
③障がい児保育・教育の充実	保育所、幼稚園における障がい児の受け入れを継続し、障がい児保育・教育を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障がい児の受け入れを実施した。	B:継続	障がい児の受け入れを継続する。	保育課
	児童・生徒の適切な就学を実現するべく、就学支援委員会にて適正に判断を行うとともに、巡回相談や希望相談を通して、学校や保護者の支援を行います。	継続実施	就学支援委員会実施回数4回 巡回相談全校各1回実施	②計画通り進んでいる	就学支援委員会にて適正に情報提供を行うとともに、巡回相談を通して学校や保護者の支援を行った。	B:継続		教育指導課
	障がいの有無にかかわらず、学校における交流学習や体験学習などを通じて、子ども同士の交流を促進します。	継続実施	全校で実施	②計画通り進んでいる	各学校において交流学習や体験学習を実施した。	B:継続	感染症拡大防止のため、できる範囲で進めていく。	教育指導課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障がい児の受け入れのあった保育所において、子ども同士の交流の促進を図った。	B:継続		保育課
④福祉サービスの充実	障がい児の生活支援と保護者の負担軽減のため、各種補助金や、補装具交付などの福祉サービスの充実を図ります。また、重症心身障害児などの家族に対するレスパイトケア事業補助金交付事業の周知・推進を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談に応じ、適宜必要なサービスの案内、支給決定等をした。	B:継続		福祉課
	障がいのある方の日常生活上の支援のため、埼玉県内に営業所を持つタクシーなどに対する福祉タクシー利用料等の助成、障害児福祉手当、特別児童扶養手当、公共料金の割引等の支援を行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害の程度により、対象となるサービスや手当等を案内し、支給した。	B:継続		福祉課
		利用者数(特別児童扶養手当)	71人	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当を支給した。	B:継続	引き続き、対象者へ適正な支給を行う。	子育て支援課
	重度心身障害者医療費支給事業を実施し、適宜事業の案内や医療費の一部負担金の支給などを行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害の程度により、対象となるかたに適宜事業の案内をし、医療費の一部負担金を支給した。	B:継続		福祉課

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						3 ひとり親家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①経済的支援制度等の充実	ひとり親家庭などへ「児童扶養手当」、「ひとり親家庭等医療費支給」を支給します。	受給資格者数(支給停止者数含む)	児扶：282人 ひ医：339人 また、新型コロナウイルス感染症の中で経済的に影響を受けるひとり親家庭等に給付金を支給することができた。 ・ひとり親家庭子育て支援臨時特別給付金(市単独事業) ・ひとり親世帯臨時特別給付金及び追加給付	①計画以上進んでいる	対象者に適正な手当等を支給することができた。	B:継続	引き続き、対象者に対して適正な支給を行う。	子育て支援課
	ひとり親家庭の経済的自立促進を図るため、就業に必要な資格取得の給付金として、「自立支援教育訓練給付金」、「高等職業訓練促進給付金」の支給し、制度の周知を図ります。	給付金申請者数	自立：1人(コロナウイルス感染症拡大防止のため講座が中止となった為支給はなし) 高等：1人	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当等を支給した。	B:継続	引き続き、対象者に対して適正な支給を行う。	
	就学援助制度や県営住宅、学童保育料の免除等の支援制度について、広報紙やパンフレットの配布、ホームページなどを通して、制度の概要と申請方法の周知活動に努めます。	周知状況	広報誌及びホームページに記事を掲載、昨年度受給者に通知	①計画以上進んでいる	制度の概要と申請方法を説明したパンフレットを作成し、配布及びホームページで公開した。 援助を必要とする世帯への継続的な制度周知に努めることができた。	B:継続		教育指導課
		継続実施	学童保育所入所案内等に、就学援助制度等該当者は、保育料免除の対象となることを記載し、入所希望者に制度を周知している。	②計画通り進んでいる	就学援助該当等による 学童保育料免除者 58人	B:継続		保育課
		県営住宅のパンフレット配布、案内	年4回実施	②計画通り進んでいる	例年通り県からいただいたパンフレットを建築課窓口と白岡駅連絡所に設置し配布した。	B:継続		建築課
		周知状況通知配布件数	広報紙に掲載及び窓口にチラシを設置	②計画通り進んでいる	広報紙に掲載したり、窓口にチラシを置くことで、制度の周知をした。	B:継続	広報紙に記事を掲載すること及び児童扶養手当現況届時等にパンフレットを配布して周知を図る。	子育て支援課
②相談指導体制の充実	相談窓口の設置や支援体制に関する情報収集を行い、ひとり親家庭の悩みや不安の解消に努めます。	相談回数	継続	②計画通り進んでいる	適時相談。関係機関のチラシや情報を集めた。	B:継続	適時相談。関係機関のチラシや情報を集める。	子育て支援課
	「女性の相談室」において、母子家庭や今後ひとり親になる可能性のある家庭の生活などの不安や悩み相談に対応します。	実施回数	女性の相談室 24回	②計画通り進んでいる	毎月2回の相談において、ひとり親になる可能性のある女性も含め、生活等の不安や悩みの解消に努めた。	B:継続		地域振興課

II 子どもの健康と福祉の地域づくり						4	児童虐待を防止する体制づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
①子どもの人権の尊重・保護	「家庭教育学級」やPTAの講座などの各種研修会を実施し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。	活動回数 参加人数	家庭教育学級委託実施講座 15回 711人	②計画通り進んでいる	年2回実施している市教育委員会主催の家庭教育学級合同講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。 また、各小・中学校に委託している「家庭教育学級」については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施講座が大幅に減少したが、各小・中学校においてコロナ禍における工夫した講座を実施し、家庭や地域の教育力の向上が図られた。	B:継続	コロナ禍においても実施できる方法を検討し、動画配信やオンライン等で実施していく。	いきいき教育課	
	人権擁護委員と連携して、子どもの人権の尊重・保護を図ります。	活動回数	人権相談 12回	②計画通り進んでいる	人権相談において、保護者や地域の方からの子どもに関する相談、SOSミニレターでの子どもからの悩み相談を受ける体制をとった。	B:継続		地域振興課	
②虐待の発生予防	産科などの医療機関及び関係課との連携により、特定妊婦の把握に努め、支援の充実を図ります。	対応人数 会議回数	妊娠届出時に専門職による面接・アンケートの実施 431人 子育て支援課とのリスク判定定例会議 8回 産科医療機関との連携会議 2回 養育支援連絡票数 延べ108件	②計画通り進んでいる	妊娠届出時に、専門職が全数面接を実施した。面接内容から、アセスメント基準に沿ってリスク判定をし、リスク中以上の場合は子育て支援課と定例会議を行い、情報共有を行った。産科医療機関と会議や連絡票から、妊婦の生活状況の把握に努め、必要な支援を行った。	B:継続			
	乳児家庭全戸訪問事業や、乳幼児健診を活用した個別相談及び情報提供を行うとともに、健診未受診者を対象とした家庭訪問などを実施し、支援が必要な家庭を適切な機関につなげます。	対応事業 対応人数	訪問指導 延べ417人 (うち健診未受診者 3人) 乳幼児健診の実施 各健診月1回 フォロー相談 24回 延べ81人 乳幼児クリニック 6回 延べ18人 乳幼児健康相談 19回 延べ203人 乳幼児栄養相談 13回 延べ57人 のびのび教室 4回 延べ20人 新型コロナ対策のため、わくわく教室は中止とした。	②計画通り進んでいる	様々な機会を利用し、育児不安・育児困難のある保護者には、継続支援を行っている。また、必要なケースについては他課に報告、連携し対応している。 健診未受診者について、電話や家庭訪問などで生活状況の確認を実施している。	B:継続	新型コロナ対策・市内の状況から、わくわく教室は中止し、のびのび教室の回数を増やし対応する。	健康増進課	
	児童虐待防止キャンペーンの実施や、県主催の研修会などを通じて、職員の人材育成に努めます。	活動件数 研修参加回数・人数	活動件数 1件 研修 2回	②計画通り進んでいる	保育園、幼稚園、小・中学校等に啓発品の配布や県主催の研修に参加した。(児童福祉司任用前講習会、要保護児童対策調整機関の調整担当者研修)	B:継続	児童虐待防止キャンペーンでの啓発品配布や県主催の研修に参加し、人材の育成に努める。	子育て支援課	
	社会科や道徳等を通して子どもの権利条約の理解などの人権教育を行うことで、将来児童・生徒が児童虐待の加害者とならないよう、未然の防止を図ります。	継続実施	人権教育の推進を行った。	②計画通り進んでいる	子どもの権利条約の理解など、社会科や道徳を通して人権教育を行った。	B:継続		教育指導課	
保護者会や保健委員会等を通じた、保護者への意識啓発と相談活動を推進します。	継続実施	教育委員会より学校を通して、啓発依頼を行った。	②計画通り進んでいる	教育委員会より各学校へ適宜情報提供を行い、啓発を行った。	B:継続				
地域の家庭の実態把握や情報の提供、相談対応、要保護児童及び要支援児童への、より専門的な支援業務等を行う「市町村子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討します。	継続実施	令和4年4月の設置に向けて、実施中。	②計画通り進んでいる	他市町の状況等について調査を行った。	B:継続	令和4年4月の設置に向けて、予算措置及び人員確保等について調整していく。			

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						4	児童虐待を防止する体制づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
③虐待の早期発見・早期対応	各関係機関の相互の連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めます。ハイリスクケースにおいては、家庭訪問や電話連絡などの積極的な対応を行います。	継続実施	校長会、教頭会を通して、早期発見等を依頼した。関係機関からの情報を速やかに学校へ周知した。	②計画通り進んでいる	疑いのある情報等については、各学校と連携を図り、児童の安否確認等を行った。	B:継続		教育指導課	
		継続実施	医療機関からの連絡、家庭訪問や各健診等により把握された、ハイリスクケースについて対応を行った。	②計画通り進んでいる	ハイリスクケースに対して、家庭訪問や電話を行い、必要なケースについては他課と情報共有・連携して対応した。	B:継続		健康増進課	
		継続実施	各保育施設内でいじめや虐待の疑いのある児童について各保育施設からの速やかな情報提供を得ることで、関係各機関への報告連絡を速やかにを行い、早期対応に努める。	②計画通り進んでいる	令和2年度については、各保育施設において該当するような案件の発生がなかったため、対応はなかった。	B:継続		保育課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関との連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めた。	B:継続	県から市町村支援専門員の派遣を受け、虐待ケースの対応と関係機関との連携方法など具体的な指導を受ける。	子育て支援課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害者虐待防止法に基づく通報等に対応をした。	B:継続		福祉課	
	地域の虐待の早期発見・早期対応に努めるため、民生委員・児童委員と連携を図るとともに、必要に応じた地域の見守りなどを推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	適宜情報の提供、共有に努め、必要に応じて地域の見守り等を依頼している。	B:継続		福祉課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関との連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めた。	B:継続	引き続き、地域の虐待の早期発見・早期対応に努めるため、民生委員・児童委員との連携を図る。	子育て支援課	
	子育て世代包括支援センターと定期的な情報交換を行い、支援が必要な特定妊婦など、妊娠期から切れ目のない支援を行います。	対応人数 会議回数	妊娠届出時に専門職による面接・アンケートの実施 431人 子育て支援課とのリスク判定定例会議 8回 産科医療機関との連携会議 2回 養育支援連絡票数 延べ108件	②計画通り進んでいる	妊娠届出時に、専門職が全数面接を実施した。面接内容から、アセスメント基準に沿ってリスク判定をし、リスク中以上の場合は子育て支援課と定例会議を行い、情報共有を行った。産科医療機関と会議や連絡票から、妊婦の生活状況の把握に努め、必要な支援を行った。	B:継続		健康増進課	
		④「要保護児童対策地域協議会」の充実	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関が連携した「要保護児童対策地域協議会」を中心に、児童虐待の発生防止と早期発見、迅速対応を図ります。	会議回数 進行管理件数	4回 64人	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関が連携して、「要保護児童対策地域協議会」の充実を図った。	B:継続	
	必要時の個別ケース検討会議において、情報共有、定期的なフォローを行うなど、進行管理、支援体制の強化を図ります。		会議回数 対象ケースの数	15回 27人	②計画通り進んでいる	必要な時に必要な関係者による個別ケース検討会議において、情報共有、定期的なフォローを行うなど、進行管理、支援体制の強化を図った。	B:継続	引き続き、必要時に個別ケース検討会議を開催する。	
⑤被害に遭った子どもへの支援	各学校の「さわやか相談員」、市教育相談室、各関係機関などが相互に連携し、いじめや児童虐待を受けた子どもを対象としたカウンセリング、保護者への相談体制などを一層充実させます。	継続実施	関係各課と連携して支援にあたった。	②計画通り進んでいる	事例に応じて、相談員やカウンセラーが対応できる体制を整えた。	B:継続		教育指導課	
		支援回数	継続	②計画通り進んでいる	各関係機関と連携をとり、きめ細やかな支援を実施した。	B:継続	各関係機関と連携をとり、きめ細やかな支援を実施する。	子育て支援課	
⑥養育支援訪問事業の確保	養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師などの家庭訪問やホームヘルパーの派遣などの支援を行います。	実施件数 日数	1件 17日間	②計画通り進んでいる	支援が必要な家庭へ家事援助を検討し、養育支援訪問事業を実施した。	B:継続	今後も健康増進課と連携して、支援の必要な家庭への養育支援訪問事業を実施する。	子育て支援課	

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						5	貧困の状況にある子どもへの支援	
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①教育支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の中学生を対象に、高校進学及び中退防止を目的に学習支援を行います。	継続実施	毎週土曜日	②計画通り進んでいる	学習支援教室を開催し、高校進学及び中退防止を図った。	B:継続		福祉課
		継続実施	関係各課との連携、SSW、臨床心理士との連携を図り、対象の中学校生徒へ周知を図った。	②計画通り進んでいる	学習支援教室への通室につながった。	B:継続		教育指導課
	経済的理由により授業料・入学料の納入が困難な生徒や所得が一定以下の世帯に対し、授業料などの負担を軽減することで、就学機会の確保を図ります。	継続実施	入学準備金 1件(大学)50万円	②計画通り進んでいる	申請者1名	B:継続		教育総務課
	低所得者世帯の保育所及び認定こども園の利用者負担の軽減に努めることで、低所得世帯の子育てを支援します。また、幼児教育の質の向上や地域子育て支援の取組を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	所得に応じた保育料を設定することで、低所得者の保育所利用の負担を軽減するとともに、給食費についても減免制度を設けることで、配慮した。	B:継続		保育課
	経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、給食費や学用品費など就学に必要な費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ります。	継続実施	毎月	②計画通り進んでいる	義務教育に伴って必要な教科書その他の学用品費等について、教育扶助費を支給した。	B:継続		福祉課
②生活支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の保護者を対象にした自立支援の取組を推進します。	給付金申請者数	自立：0人 高等：1人	③計画より遅れている	対象者に適正な手当を支給したが、自立支援については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座自体が中止となり、給付金の申請者が0人となった。	B:継続	引き続き、対象者に対して適正な支給を行う。	子育て支援課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	生活全般にわたる困りごとについて相談に応じ、解決に向けた支援を図った。	B:継続		福祉課
③保護者への就労支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の保護者を対象とした就労支援の充実を図ります。	継続実施	月2回	②計画通り進んでいる	ハローワーク巡回相談を月2回開催する他、必要に応じて随時就労支援を行い、経済的自立を図った。	B:継続		福祉課
④経済的支援	児童扶養手当の支給、福祉資金の貸し付けなどにより、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭を支援します。	受給資格者数(支給停止者数含む)	児扶受給者：282人 また、ひとり親家庭に対し特別給付金を支給した。 ・ひとり親家庭子育て支援臨時特別給付金(市単独事業) ・ひとり親世帯臨時特別給付金及び追加給付	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症の中で経済的に影響を受けるひとり親家庭等に給付金を支給することができた。	B:継続	引き続き必要な世帯に対し適正に支給を行う。	子育て支援課
		ひとり親家庭等医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を行います。	受給資格者数(支給停止者数含む)	受給資格者：339人	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当を支給した。	B:継続	引き続き必要な世帯に対し適正に支給を行う。

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						1 家庭・地域の「教育力」の向上			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
①家庭教育への支援の充実	家庭の「教育力」の向上を図るため、小中学生の子どもがいる親を対象とした「家庭教育学級」を、ボランティアやNPOと連携しながら定期的に開催します。また、父親の参加などを促進することで、より一層の知識の普及に努めます。	活動回数 参加人数	家庭教育学級委託実施講座 15回 711人	②計画通り進んでいる	年2回実施している市教育委員会主催の家庭教育学級合同講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。 また、各小・中学校に委託している「家庭教育学級」については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施講座が大幅に減少したが、各小・中学校においてコロナ禍における工夫した講座を実施し、家庭の「教育力」の向上が図られた。	B:継続	コロナ禍においても実施できる方法を検討し、動画配信やオンライン等で実施していく。	いきいき教育課	
	地域子育て支援拠点で実施している「育児講座」を継続し、乳幼児の救急に関する知識の啓発や「親子体操」などを実施します。	参加人数	はびちる…18人 らぶちる…0人 ぷりちる…0人 虹…0人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止をしたが、利用者のニーズに合うように多様なテーマで講座を実施した。	B:継続		子育て支援課	
	親が学ぶ講座や、親子で楽しんで学べる講座、リフレッシュ講座等、多様なテーマで講座を実施します。	参加人数	はびちる…79人 らぶちる…131人 ぷりちる…42人 虹…28人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止をしたが、リフレッシュ講座や学べる講座など多様なテーマで講座を実施した。	B:継続			
	各教室で妊娠・出産・育児についての講話を行い、育児に関する知識の普及、事故防止についての啓発を実施します。	実施回数 参加人数	母親・両親学級 10回 母親 60人 父親 49人 新型コロナ拡大防止のため、1日コースとして実施。 離乳食教室 5回 延べ21人 のびのび教室の中でミニ育児講座の実施 5回 延べ20人	②計画通り進んでいる	妊娠・出産・育児についての講話を行うことで、育児等についての知識の普及が図られた。	B:継続	新型コロナ対策に留意しながら、事業を実施する。	健康増進課	
②地域の「教育力」の向上	「ウィークエンドいきいき体験活動事業」の一環として、自然環境の活用や、人と自然との関わり、農業などを学びつつ、異年齢・世代間の交流の場としてプログラムの提供に努めます。	事業回数 参加人数	1事業1回 5人	②計画通り進んでいる	「ウィークエンドいきいき体験活動事業」の一環として「田んぼの学校(しめ縄作り)」を実施し、自然環境を活用するだけでなく、人と自然との関わりを含めたプログラムを提供することができた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回うち1回は田んぼの学校と重複)	学び支援課	
	「環境学習会」を開催し、課外授業を通じた体験・見学などを行い、環境やエネルギーの問題、リサイクルについて学ぶ機会を提供します。	参加人数	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度の環境学習会は中止とした。	③計画より遅れている	環境問題への関心度を高めるための企画であり、幅広い分野の「環境」に関連する施設やテーマを検討して事業を開催している。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となったことにより評価を「③計画より遅れている」とした。 令和2年度については、開催を中止としたが、今後も学習機会の拡大に努める必要がある。	B:継続	令和3年度の環境学習会についても既に中止が決定しているが、「COOL CHOICE(賢い選択)普及啓発事業」として、エコカー試乗会やエコドライブ講習会、COOL CHOICEストラックアウトなどの事業を実施予定。	環境課	
	教育環境の整備を行い、ペアーズバンクに登録した地域の人材が指導者として活躍できるような体制の確立に努めます。	登録者数	ペアーズリーダー 58人 ペアーズサークル 33団体	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続	自然観察会の指導者として、活躍の場を提供する。	学び支援課	
	ペアーズバンクに登録している地域の人材、団体に「ウィークエンドいきいき体験活動事業」や公民館の講座などの講師として活躍してもらいます。	登録者数	ペアーズリーダー 58人 ペアーズサークル 33団体	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続	自然観察会の指導者として、活躍の場を提供する。	学び支援課	
	「緑のカーテン」事業の一環として、家庭に苗木等の提供及び緑のカーテン活用講座の実施などを行い、地球温暖化に対する市民の意識啓発を図ります。	参加人数	市民:50世帯 事業所:3社	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度の緑のカーテン活用講座は中止としたが、申込者に対しゴーヤ苗の配布のみ行った。	B:継続	令和3年度の「緑のカーテン活用講座」についても中止とし、ゴーヤ苗の配布のみを行った。 令和3年度実績(5月12日~14日の期間に配布) 市民:40世帯 事業所:3社	環境課	
	家庭・地域・学校・行政が同じ目標を持って協働するために考案された「白岡アクションプラン」の趣旨に基づき、家庭・地域・学校・行政が有機的に連携して子育てができるよう、市が関係機関との調整を図り、推進団体の育成・支援に努めます。	団体数	3団体 ・PTA連絡協議会 ・子ども会育成連絡協議会 ・「町ぐるみん白岡」	②計画通り進んでいる	「白岡アクションプラン」の趣旨に基づき、家庭・地域・学校・行政連携して、子育て推進団体の育成・支援に努めた。	B:継続		いきいき教育課	
	「白岡アクションプラン」の趣旨に基づいて設立された「町ぐるみん白岡」の活動の支援と周知を行います。	事業回数 従事者人数	2事業 延べ22人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施事業回数が減少し、これに伴い従業者数も減少したが、コロナ禍においても実施できる事業に対し支援することができた。	B:継続			

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						2 就学前教育の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①幼児教育についての情報提供	市広報紙やチラシ、ホームページ、パンフレット、子育て支援ガイドブック等を通じて、市内幼稚園の情報など幼児教育・就学前教育に関連する情報提供を行います。	啓発回数	随時	②計画通り進んでいる	子育て支援ガイドブックを活用し、情報周知を実施した。	B:継続		子育て支援課
②幼稚園における教育、子育て支援の充実	幼児教育の振興や施設の整備などを市内の私立幼稚園を対象に行います。	申請施設	市内私立幼稚園3園	②計画通り進んでいる	私立幼稚園に助成を行うことで、幼児教育施設等の充実が図られた。	B:継続		教育総務課
	幼児教育無償化事業を行うことで、幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担の軽減を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	幼稚園の入園料・保育料補助 年度末対象者 954人	B:継続		保育課
③保育所における教育の推進	保育所における教育について、研究・検討を行い、さらに内容の充実に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	園ごとに研究内容を決定し、全体集会を実施。また、定期的に各保育所のクラス担任会議を実施し、指導内容の検討を行った。外部で実施している研修会にも積極的に参加した。	B:継続		保育課
	職員の研修を充実させ、その資質の向上に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	職員が機会を捉えて、様々な研修に参加することで資質の向上に努めた。	B:継続		
④保育所と幼稚園、小学校との連携体制の強化	全体会議や各学校での会議を実施することで、新入学児童についての保育士と教員の話し合いの場を提供し、連携強化を図ります。	会議数	1回以上	②計画通り進んでいる	感染症拡大防止の観点から全体会議は実施しなかったが、各学校と保育所、幼稚園がそれぞれ連携を図った。	B:継続	感染症拡大防止のため、できる範囲で進めていく。	教育指導課
	子どもの育ちを支える資料(保育所児童要録)を学校に継続的に送付します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	年度末就学予定の小学校に保育所児童保育要録を送付した。	B:継続	小学校生活が円滑になるよう保育所児童保育要録を送付し、子ども自身の育ちを小学校教育につなげる	保育課
	就学に向けて、園ごとに小学校への見学を行い、小学生との交流などを図ります。	継続実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	B:継続		

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						3	学校教育の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課	
① 確かな学力・体力の育成	教育指導補助員、教科指導の充実のための加配教員を適宜学校に配置することで、少人数指導を実施するとともに、個に応じた学習の充実に努めます。	継続実施	各小・中学校に、学校の実態に合わせ教科指導補助員や加配教員を配置した。	②計画通り進んでいる	市費で教科指導補助員を配置し、県費で教科指導充実加配教員を配置した。	B:継続	なし	教育指導課	
	各小・中学校において、あいさつ運動などを行い、優しさと思いやりのある豊かな心の醸成を目指します。	継続実施	各学校で、道徳教育や人権教育を推進した。	②計画通り進んでいる	あいさつ運動については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、自粛した。	B:継続	なし		
	エコライフDAYなどを実施し、自然を愛し、環境のあり方に関心を持つ児童・生徒の育成を図ります。	廃止	実施なし	②計画通り進んでいる	学校の働き方改革の一環として、令和2年度から廃止した。	D:完了・廃止	なし		
	児童・生徒の部活動などを通し、健やかな身体の育成や自発性・自主性の向上を推進します。	ボランティア指導員数	ボランティア指導員数21名配置	②計画通り進んでいる	市内4中学校に、21名配置した。	B:継続	なし		
② 豊かな心の育成	学校教育全体を通して道徳教育の充実を図るとともに、体験活動での人々との関わり合いを通して、「心の教育」の充実に努めます。	継続実施	各学校で学校の教育活動全体を通して、道徳教育を推進した。	②計画通り進んでいる	体験活動については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できなかった活動が多い。	B:継続	体験活動は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながら、できる範囲で進めていく。	教育指導課	
③ 悩みごと相談体制の充実	不登校児童・生徒などの支援を行う教育支援センターにおいて、児童の悩みごとの相談体制や、学校への復帰や社会的自立に向けたサポートの充実を図ります。	継続実施	適応指導教室の運営	②計画通り進んでいる	生徒及びその保護者に対して適切に相談が行われ、学習の場が保障できた。	B:継続		教育指導課	
	中学校に「さわやか相談員」やスクールカウンセラーを配置し、人間関係や進路などさまざまな相談に対応します。	相談回数	901件	②計画通り進んでいる	生徒及びその保護者に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	小学校に相談室を配置し、電話や面談による相談を受け付けます。	相談回数	189件	②計画通り進んでいる	児童及びその保護者に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	教育委員会に設置されている教育相談室で、保護者からの教育相談、就学相談、先生方の教育相談などに対応します。	相談回数	40件以上	②計画通り進んでいる	児童生徒及びその保護者、教員に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	教育相談室や教育支援センターなどが連携し、不登校などの相談に対応します。	相談回数	196件	②計画通り進んでいる	児童生徒及びその保護者、教員に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
④ 信頼される学校づくり	学校運営協議会の設置や学校評議員制度、学校公開、PTA行事を実施し、開かれた学校づくりに努めます。	継続実施	開かれた学校づくりの推進	②計画通り進んでいる	各学校において学校評議員会を実施。また、可能な範囲で学校公開日を設定し、開かれた学校づくりに努めた。	B:継続		教育指導課	
	授業公開期間、市広報紙やホームページを積極的に活用するなど、保護者や地域住民に学校を知ってもらうとともに、地域住民との協働による活動や、市の行事への積極的な参加を促し、地域・学校・家庭の連携を強化します。	継続実施	家庭・地域との連携の推進	②計画通り進んでいる	学校公開日を設定し、学校だより等で地域に知らせると共に、学校応援団事業を推進し、家庭、地域と連携した教育を展開した。	B:継続			
	各学校において、定期的に施設整備の点検を行い、安全・安心や防犯の一層の充実を図ります。	継続実施	安全・安心な学校づくりの推進	②計画通り進んでいる	各学校において、定期に施設整備の安全点検を実施。	B:継続			
⑤ 学校応援団の推進	学校応援団づくりを推進し、各学校応援団の交流や、日々の教育活動の強化、児童・生徒の見守りを行い、地域の教育力の積極的な活用を図ります。	継続実施	学校応援団事業の推進	②計画通り進んでいる	各学校において学校応援団事業を推進し、日々の教育活動や児童生徒の見守り等に尽力いただいた。	B:継続		教育指導課	

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						4 次代の親の育成		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和2年度(実績)	評価	令和2年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和3年度】	左の補足説明	担当課
①男女平等教育の推進	学校の全教育活動を通して、人権教育や道徳、男女平等教育などを行い、生徒の意識の醸成を図ります。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	人権教育や道徳、学級活動において男女平等教育について扱う時間を設定し、計画的に教育活動を展開した。	B:継続		教育指導課
	学校生活の中で、必要以上に男女を区別することなく、平等になるように配慮を行います。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	学校生活の中で、男女を区別するところと平等にするところを配慮した。	B:継続		
	小学校に支援相談員、中学校にさわやか相談員を配置し、男女の問題に関する悩みを抱える保護者や児童・生徒のための教育相談体制の充実を図ります。	継続実施	教育相談の充実	②計画通り進んでいる	小学校に支援相談員、中学校にさわやか相談員を配置し、相談体制を整えている。	B:継続		
	学校教育などにおいても、児童・生徒が性別にとらわれないように学校生活を送れる環境の整備や、男女がお互いの性を理解・尊重できるような知識普及、意識の醸成を図ります。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	学校生活の中で、男女を区別するところと平等にするところを配慮した。	B:継続		
②小・中・高校生と乳幼児とのふれあい	定期的に、小・中・高校生と乳幼児が交流するような行事の企画や、卒園児の行事への招待を行い、異年齢交流を図ります。	継続実施	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	保育課
	異年齢のふれあいを実現するべく、教科の授業や中学生社会体験チャレンジ事業などで保育所や幼稚園への訪問を実施します。	継続実施	異年齢交流の推進	②計画通り進んでいる	中学生の社会体験チャレンジにおいて、交流を行った。	B:継続	感染症拡大防止のため、できる範囲で進めていく。	教育指導課
		参加者数(家庭科授業)	67人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	保育課
	高校生の夏休みボランティアの保育所による受け入れを継続します。	参加者数	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	B:継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	保育課
	児童館における日常的な異年齢交流を、児童館まつり、小中学生を対象とした事業などを通して促進します。	受け入れ人数	東 84人 西 111人	③計画より遅れている	児童館まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、開催された事業では、安全対策に努め、小中学生対象の事業で異年齢交流の促進に努めた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (東・西児童館)

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1	地域子育て支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方角【令和2年度】	左の補足説明	担当課	
①交流機会の創出	地域子育て支援拠点などにおける遊びの指導や育児講座を通じて、親子がともに育つ場作りを充実します。	参加人数 講座回数	2,750人 143回	②計画通り進んでいる	毎回の親子教室では、手遊びやふれあいあそび、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			2,813人 140回	②計画通り進んでいる	毎回の親子教室では、手遊びやふれあいあそび、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			1,976人 156回 (うち11回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	②計画通り進んでいる	毎回の親子教室では、手遊びやふれあいあそび、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
			1,437人 147回	②計画通り進んでいる	毎回の親子教室では、手遊びやふれあいあそび、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (虹)	
	親子への読書案内等を実施し、本との出会いの機会を提供するとともに、図書館を『子育て・親育て』のための交流の場とするように努めます。	読み聞かせ(おはなし会)実施回数 参加人数	計63回 2,054人	②計画通り進んでいる	各種おはなし会を実施し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士のコミュニケーションの場を提供した。	B:継続		学び支援課	
	児童館における各事業の中で親子、異年齢、異世代間の交流を図りながら、仲間づくりの輪を広げられるように努めます。	参加人数	838人	②計画通り進んでいる	親子、異年齢、異世代間での交流が充実するよう、多様な事業を実施した。	B:継続		子育て支援課 (東児童館)	
			2,291人	②計画通り進んでいる	親子、異年齢、異世代間での交流が充実するよう、多様な事業を実施した。	B:継続		子育て支援課 (西児童館)	
	「ウィークエンドいきいき体験教室」など、親子の交流等の促進を図ります。	参加人数 教室回数	5事業11回 371人	②計画通り進んでいる	「ウィークエンドいきいき体験教室」など、親子の交流等の促進を図ることができた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回:うち1回は田んぼの学校と重複) ・自然ふれあい体験教室(1回)を開催する。 ・わんぱく商店街 ・公立学校開放講座を開催する。	学び支援課	
	母親学級同窓会を開催し、同じ年齢の子どもをもつ母親たちの交流を支援します。	H30年度で廃止						健康増進課	
	②子育てサークル等への支援	子育てサークルの結成や活動を支援するとともに、各サークルが自主的に活動する中で、子育ての孤立化が軽減できるように努めます。	参加人数	254名	②計画通り進んでいる	子育てネット「にこ梨ん♪」や民生児童委員の協力を得ながら、サークル作り、サークル活動の支援を行った。サークル結成後については、場所や備品の貸出をし、必要に応じて支援を行い、各サークルが活動しやすいよう努めた。	B:継続		子育て支援課 (はびちる)
母子愛育会活動への支援を継続します。		継続実施	幼児教室(七夕・お月見・運動会・節分) 計4回 197人参加 各地区幼児教室を実施 赤ちゃん広場 156人参加	②計画通り進んでいる	会が主体的に活動内容を工夫し、地域に根付いた取り組みを行っており、多くの親子が参加している。	B:継続	引き続き、親子教室等による仲間づくりのための事業を支援するとともに、地域の新たな課題や活動方法にも目を向けられるよう支援していく。	健康増進課	
③子育て支援ネットワークづくり	地域子育て支援拠点を中心に、子育てサークルや関係機関からなる「子育て支援ネットワーク」を推進するとともに、「子育て支援ネットワーク会議」のあり方の再構築などを検討し、充実に努めます。	会議回数 参加人数	2回 83名	②計画通り進んでいる		B:継続		子育て支援課	
			0回	②計画通り進んでいる	育児講座で保健センターと消防署に派遣依頼し実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
	2回 25人	②計画通り進んでいる	消防署に派遣依頼をし、応急救護と消防車体験を実施した。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)			
	0回 0人	②計画通り進んでいる	保健センターや家庭児童相談員と連携した講座を、1回計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	B:継続		保育課 (ぶりちる)			
		0回	③計画より遅れている	相互派遣は行わなかった。	D:完了・廃止		子育て支援課 (虹)		

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1	地域子育て支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方角【令和2年度】	左の補足説明	担当課	
④ボランティアの育成	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行った。	B:継続	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行う。	子育て支援課	
	地域の子育て力を高めるため、家庭や地域・学校が連携し、ボランティア活動の促進に取り組むとともに、今後もボランティアの積極的な受け入れに努めます。	活動回数	実施	②計画通り進んでいる	ボランティアの積極的な受け入れに努めた。	B:継続	地域の子育て力を高めるため、家庭や地域・学校が連携し、ボランティア活動の促進に取り組むとともに、今後もボランティアの積極的な受け入れに努める。		
	図書館に関するボランティアについて、図書館も積極的に支援し、図書普及事業とボランティア団体の育成を図り、地域と密着した図書館を目指します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	毎月のおはなし会のミーティングや定期的に図書館ボランティア連絡会を開催し、情報共有を図るなどボランティアの育成・発展に努めた。	B:継続		学び支援課	
⑤相談体制の充実	地域子育て支援拠点を中心に相談体制を充実します。	相談実施事業回数 相談人数	妊娠届出時に専門職による面接の実施 440人 乳幼児健康相談 22回 延べ292人 乳幼児栄養相談 月1回 延べ52人 ※3月は新型コロナの影響で中止 フォロー相談 年24回 延べ94人 乳幼児クリニック 年6回 延べ18人 ことばの教室 年36回 延べ100人	②計画通り進んでいる	相談利用者の増加を受け、回数を増やし、相談体制の充実を図った。	A:拡大・充実	H31年1月から「子育て世代包括支援センター」を保健センター内に開設し、子育て支援機関や医療機関等と連携・調整を図り、相談・情報提供等、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない継続的な支援を行う。	健康増進課	
		相談件数	55件	②計画通り進んでいる	電話や面談での相談を随時行うとともに、利用者への声掛けを積極的に行い、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努めた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
		相談件数	19件	②計画通り進んでいる	電話や面談での相談を随時行うとともに、利用者への声掛けを積極的に行い、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努めた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
		相談件数	21件	②計画通り進んでいる	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けを積極的に行い、安心して相談できる環境作りに努めた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
		相談件数	13件	③計画より遅れている	電話や面談での相談を随時行うとともに、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努めた。	B:継続	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行う。	子育て支援課 (虹)	
	広報、ポスター、地域子育て支援拠点だより、保健センター事業等予定表などにおいて、相談事業の周知活動に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	事業予定表の全戸配布、市広報、HP、チラシ等を活用し、相談事業の周知活動に努めた。	B:継続		健康増進課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行った。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	広報に掲載し随時子育て相談を行い、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行った。	B:継続	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行う。	保育課 (ぶりちる)	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行った。	B:継続	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行う。	子育て支援課 (虹)	

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1	地域子育て支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方角【令和2年度】	左の補足説明	担当課	
⑥情報提供体制の充実	市広報紙やパンフレットなどを積極的に活用し、子育て中の親と子に様々な情報を提供します。	情報提供・回数	広報・児童館拠点だより各12回、にこ梨ん4回、学習ガイド2回 計30回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、利用者へ声掛けをし子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
		情報提供・回数	広報・児童館拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	広報を見て事業に参加されるかたが多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
		情報提供・回数	広報・拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、利用者へ声掛けをし子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続	市広報紙や子育て支援ガイドブック・パンフレットのほかに、利用者へ声掛けをし子育てに関する情報提供に努める。	保育課 (ぷりちる)	
		情報提供・回数	広報・拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、ミニチラシの作成、ブログの発信、利用者へ声掛けをし子育てに関する情報提供に努めた。	A:拡大・充実	支援事業を周知してもらうために、情報提供の新たな方法を検討する。	子育て支援課 (虹)	
		情報提供・回数	広報しらおか12回 いきいきキッズ3回 生涯学習ガイド2回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットなどを活用し、子育て中の親と子に様々な情報を提供することができた。	B:継続	・広報しらおか ・いきいきキッズ ・生涯学習ガイドを発行します。	学び支援課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	必要に応じて、広報誌やポスターの掲示等で情報提供を実施した。	B:継続		福祉課	
	継続実施	家庭訪問・健診時等にチラシや冊子を配布。	②計画通り進んでいる	事業予定表の全戸配布、市広報、HP、チラシ等を活用し、広報に努めた。	B:継続		健康増進課		
	市広報紙などで、不妊検査・治療費助成事業についての情報提供を継続します。	助成者数	検査助成14組 治療助成43組 計57組	②計画通り進んでいる	リーフレットの設置、市広報、HP、保健所に協力を依頼し、広報に努めた。	B:継続	H30年度から不妊検査費用、H31年度から不育症検査費用の助成を開始した。	健康増進課	

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						2 多様な保育サービスの充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和2年度】	左の補足説明	担当課
①保育所機能の充実	認可保育所の定員増や弾力化、低年齢児童を中心とする受け入れ枠の拡大等を図って、待機児童の解消に努めます。	待機児童数	4月報告 18人 10月報告 44人	③計画より遅れている	小規模保育施設(定員19人)を1か所整備したが、待機児童数が増加した。	A:拡大・充実	保育必要量を見込み、待機児童の解消に向けた保育所整備を推進する。  民間保育所(定員90人)1か所について、令和3年度開所のため、準備を進める。	保育課
	生活様式の多様化や社会・産業構造の変化の中で、子育てと仕事が両立できるように、保育所の機能の充実に努めます。	継続実施	実施	①計画以上進んでいる	保護者が安心して児童を預けられるよう、国基準よりも多く人員を配置するなど、保育所の機能の充実に努めた。	B:継続		
	障がい児保育については、受け入れが可能な体制を継続します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	人材、設備等を引き続き整備し、受け入れが可能な体制を継続した。	B:継続		
②保育所における保育サービスの充実	現行の通常保育や延長保育、一時保育の実施を継続するとともに、需要に応じて延長保育時間のさらなる延長や休日・夜間保育の実施について検討します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	公立保育所において、最長朝7時から夜19時まで開所する延長保育や、一時保育の実施を継続した。 公立保育所における土曜日保育について、平成31年度から平日と同様になるよう保育時間を拡大した。	B:継続	需要に応じて、延長保育のさらなる時間延長、一時保育の利用事由の拡大、休日・夜間保育の実施等について引き続き検討する。	保育課
	利用者のニーズによって、保育所で障がい児保育を実施します。	継続実施	保育所5名受入	②計画通り進んでいる	ニーズに応じて受け入れ体制を整え、障がい児保育を実施した。	B:継続		
	事故やけがの防止に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	クラス担任は、毎月安全チェックリストを記入し、保育所内外におき安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制作りを図った。	B:継続	安全チェックリストを記入することから、保育所内外におき安全点検に努めるとともに危険箇所の点検や外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など不足の事態に備えて必要な対応に努める。	
	保育の中で、防災に関する絵本や紙芝居などを通じて子どもたちに啓発活動を行うとともに、火災・地震を想定して、毎月避難訓練を実施します。	避難訓練回数 参加者数	訓練回数:年12回 参加者:保育所全入所児童	②計画通り進んでいる	年12回避難訓練を実施(うち年2回は消防署立会いのもと)、定期的に防災や紙芝居等を通じて子どもたちに啓発活動を行っている。	B:継続		
	「防災カード」(保険証番号や血液型等を記録した個人カード)の作成を継続します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	一部は保育所控、もう一部は保護者控えとして防災カードの作成を図った。	B:継続		
	不審者対策など、職員向け防犯マニュアルに基づき安全保育を周知します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	防災ひまわりの巡回を実施した。また、各園ともに不審者対策の方法を子どもたちと一緒に考え対応力を身につける訓練を実施している。	B:継続		
	職員の資質向上のために、研修を実施するとともに、日常の自己学習や保育活動の中でも研さんを重ねよう努めます。	継続実施	内部研修11回89人 外部研修35回84人	②計画通り進んでいる	定期的に会議等を実施し、更なる資質向上を図るよう努めた。	B:継続		
	保育所の保育サービスに対する利用者のニーズ調査を実施し、対応するとともに、第三者評価の受け入れについて検討します。	継続実施	実施	③計画より遅れている	ニーズ調査の方法や第三者評価の受け入れについて検討したが、導入には至らなかった。	B:継続	他の先進事例を参考に、引き続き導入に向けた検討を行う。	
③その他保育サービスの充実	「ファミリー・サポート・センター」については、「協力会員」の増員に努めます。	会員数	507人	②計画通り進んでいる	毎月、定期的に入会説明会を実施するほか、臨時の入会説明会も実施し利用者が入会しやすいように考慮した。	B:継続		子育て支援課
	「緊急サポート」について、導入している自治体等の先進事例の情報収集に努め、検討します。	継続実施	17件	①計画以上進んでいる	平成27年度より実施し、平成31年度も継続して実施した。	B:継続		
	家庭保育室と連携を図り、保育サービスの充実に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	認可保育所以外の保育施設として、保護者に情報提供した。	B:継続		保育課

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						3 子育て家庭に対する経済的支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和2年度】	左の補足説明	担当課
①手当・医療費の助成等	「児童手当」、「こども医療費」および「ひとり親家庭等医療費」について、対象者への支給を継続します。	継続実施	継続実施	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当等を支給した。	B:継続	「児童手当」「ひとり親家庭等医療費」「こども医療費」ともに継続	子育て支援課
②ベビーベッドの貸し出し	乳児の健やかな成長を支援するとともに、家庭の経済的負担の軽減を図るため、ベビーベッドの無料貸し出しを継続します。	貸出数	新規:167 延長:89	②計画通り進んでいる	申請者に対して適正な貸出を行った。	B:継続	申請者に対して適正な貸出を行い、乳児の健やかな成長を支援するとともに、育児をする家庭の経済的負担の軽減を図る。	子育て支援課
③県事業の促進	埼玉県が実施している「パパ・ママ応援ショップ」子育て家庭優待事業をより利用しやすくするため、協賛店舗の拡大・充実を図ります。	継続実施	協賛店舗数:105	②計画通り進んでいる	希望者に対し適宜優待カードを配布した。 協賛店については、随時店舗柄の希望があれば、受付を行っており、前回報告よりも微増となった。	B:継続		子育て支援課

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						4 働きながら子育てできる地域づくりの充実			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	H31年度	評価	H31年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和2年度】	左の補足説明	担当課	
①男女共同参画の意識啓発	男女の平等や相互の協力についての学習や講座、セミナーなどを充実させ、男女共同参画の考え方や、家庭において男女が協力して家事や育児に取り組むことの大切さについての啓発をさらに推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	男女共生セミナーの開催や男女共同参画パネル展の開催により多様な働き方について、情報提供をすることができた。	B:継続		地域振興課	
	しらおか男女共生広報紙「ハーブティ」の発行や、参画ステップアップ講座、または男女共生セミナーを開催します。	発行回数 参加人数	発行2回 参加人数52名	②計画通り進んでいる	「ハーブティ」の発行、男女共生セミナーの開催により、男女共同参画の意識啓発を図ることができた。	B:継続			
②男性を含めた働き方の見直し	「ワーク・ライフ・バランス」の考え方や安心して育児と就労ができる環境づくりについての啓発に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	「ワーク・ライフ・バランス」等の実施についてのパンフレットを窓口で配布した。	B:継続	「ワーク・ライフ・バランス」等の実施についてのパンフレットを引き続き窓口で配布する。	子育て支援課	
			実施	②計画通り進んでいる	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をすることができた。	B:継続	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をする。	商工観光課	
	商工団体と連携し、市内事業所に対し子育て支援に関し啓発に努めます。	事業所数	748事業所	②計画通り進んでいる	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をすることができた。	B:継続	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をする。	商工観光課	
③父親の子育て参加の促進	市内の事業所等に対し、商工会や工業団地振興会などを介して、育児休業制度等の制度を十分に理解して利用するよう啓発に努めます。	事業所数	748事業所	②計画通り進んでいる	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をすることができた。	B:継続	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をする。	商工観光課	
	労働者や事業主の意識改革を促進するため、各種制度に関するパンフレットを配布し、父親の子育て参加に向けた啓発活動を行います。	参加者数	211人	②計画通り進んでいる	パパとあそぼう、親子クラブ(土日)を実施し、父親の子育て参加の場の提供を行った。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
	父親と子どもが楽しんで参加できるような事業を開催し、また、両親学級などにて、子育てに参加する父親の意識を高めるとともに、他の父親との交流が図れるように支援します。	参加人数 事業回数	両親学級 年4コース(3日間1コース) 各回3日目は両親学級 父親28人参加(参加率53.8%) ※4コース目最終日は新型コロナの影響で中止	②計画通り進んでいる	両親学級では、父親向けの話やDVDの視聴を通して、父親となる自覚が芽生えるよう支援している。また父親同士の交流が持てるようにした。	B:継続		健康増進課	
④放課後児童の健全育成の充実	施設の増築や余裕教室の利用等について勘案しながら、放課後児童クラブ(学童保育所)の定員の拡大を図ります。	定員数	定員460人	②計画通り進んでいる	弾力化定員や学校教室を借用することで、受け入れ人数の拡大を図った。 篠津第三学童クラブの新設により、定員が40人拡大された。	A:拡大・充実	西第3児童クラブを新設するため、実施設計を行う。	保育課	
	放課後児童指導員について、有資格者の配置を推進します。	配置数	各学童保育所に1名増	②計画通り進んでいる	各学童1名ずつ放課後児童支援員認定資格研修に参加し、資格を取得した。	B:継続	放課後児童支援員認定資格研修に計画的に参加し、資格取得を推進する。		
	開所時間の拡大や民間への移行について検討します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	平成30年度から指定管理者により、運営している。	D:完了・廃止			
	障がいのある児童の受け入れを図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	保護者と調整しながら受入に努めた。	B:継続	保護者と調整しながら受入に努める。		